

第 6 回 定 期 研 究 会

平成 22 年度 SGST 第 6 回定期研究会 議事録

日時 : 平成 23 年 3 月 3 日(木) 16:00~17:30

場所 : 愛知工業大学 本山キャンパス 3F 講義室

出席者: 後藤, 永田, 奥村(名工大), 伊藤, 北根, 廣畑(名大), 木下(岐阜大), 近藤, 久保, 宇佐美, 小塩, 渡辺(名城大), 野田, 山田(中日本 HWE), 中野(愛知県), 柴田, 太田, 米田, 宮崎, 渡邊, 澤田(名公社), 岸本(創建), 加藤, 佐藤(中日本 C), 川瀬(日中 C), 藤澤(新三重 C), 古市(維持管理工房), 加藤, 園部(JTS), 嘉津(KTS), 小枝(川田), 土橋(横河), 神頭, 吉嶺(日車), 室井, 窪田(日鉄トピー), 尾関, 織田, 高地, 岩田, 石川, 菱川, 種岡, 北山, 柘植, 伊藤(慎), 森田, 松村(瀧上)

46 名(敬称略)

1. 定期研究会(16:00~17:30)(織田幹事長)

講演者: 大林組 名古屋支店 建築工事部建築工事生産管理課課長 藤本俊介 氏

講演項目: 「東京スカイツリーの建設」

土木学会 CPD プログラム認定番号 JSCE10-0956

講演内容

講演「東京スカイツリーの建設」:

自立式電波塔としては世界一の高さ(634m)となる新タワーである「東京スカイツリー」について, 計画段階でのエピソードや過去に建設されたタワーとの比較, 技術についてのご説明を頂いた。

三角形から円形になる平面形を有する他に類を見ない構造であること, 日本の伝統建築である五重の塔中心部の心柱になぞらえ「心柱制振」と名付けられた制振システム, リフトアップ工法やスリップフォーム工法など新技術を用いた施工の概要説明を頂いた。

本発表については, 既にメディアなどで取り上げられているプロジェクトであり, 参加者の関心も高く, 活発な質疑応答が行われた。

以上//

平成 23 年 3 月 3 日 H22.SGST 第 6 回定期研究会

講演題目：「東京スカイツリーの建設」

土木学会 CPD プログラム認定番号 JSCE10-0956

講演者：大林組 名古屋支店 建築工事部建築工事生産管理課課長 藤本俊介 氏

会場：愛知工業大学 本山キャンパス（愛知県名古屋市）

講演日時：平成 23 年 3 月 3 日（木） 16:00～17:30

講演要旨：

自立式電波塔としては世界一の高さ（634m）となる新タワーである「東京スカイツリー」について、計画段階でのエピソードや過去に建設されたタワーとの比較、技術についての説明。

三角形から円形になる平面形を有する構造であること、日本の伝統建築である五重の塔中心部の心柱になぞらえた制振システム、新技術を用いた施工の概要説明。



www.skytree-obayashi.com

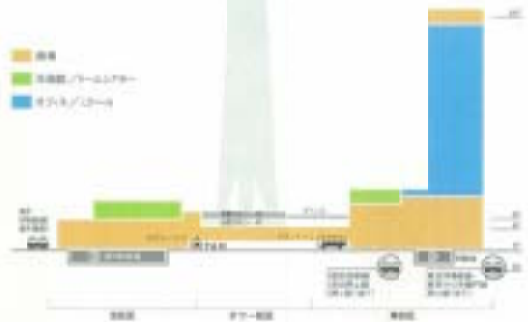


計画概要

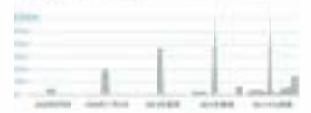
建設予定地
 所在地 東京都墨田区
 所在地 東京都墨田区江東橋本1-1-1
 敷地面積 約10,000㎡(約2.5ヘクタール)
 高さ 333m
 設計内容 塔体(塔身・観望室・展望デッキ)・エレベーター・展望デッキ
 設計者 大林組(大林建設(株)・大林建設(有)・大林建設(株))
 建設内容 塔体(塔身・観望室・展望デッキ)・エレベーター・展望デッキ
 建設費 約1,000億円
 竣工予定 2012年
 建設主体 大林組(大林建設(株)・大林建設(有)・大林建設(株))
 建設内容 塔体(塔身・観望室・展望デッキ)・エレベーター・展望デッキ
 建設費 約1,000億円
 竣工予定 2012年

建設内容

建設内容
 塔体(塔身・観望室・展望デッキ)
 エレベーター
 展望デッキ



三層タワーモデル(浮定)



デザイン性

アンテナは数層アンテナを取り付けたため、最上層のアンテナはアンテナ塔と呼ばれ、これをアンテナ塔と呼びます。

アンテナ塔

アンテナ塔はアンテナ塔が設置される予定です。

観望室

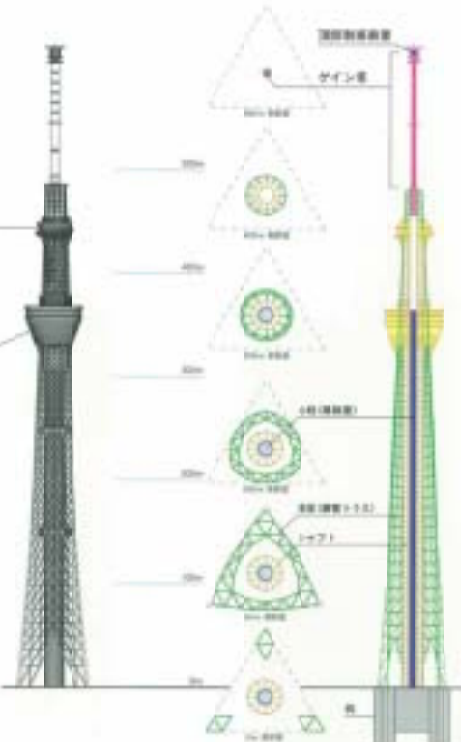
展望ゾーンは展望室です。展望室はエレベーターの途中にあり、展望室からこの展望室までエレベーターで移動し、エレベーターで移動し、エレベーターで移動します。

展望デッキ

展望ゾーンは展望室です。展望室はエレベーターの途中にあり、展望室からこの展望室までエレベーターで移動し、エレベーターで移動します。

三層から円形にも平面形

タワーは、三層から円形にも平面形です。タワーは、三層から円形にも平面形です。タワーは、三層から円形にも平面形です。



設計の概要

建設制約事項(TMO)

デザインには制限という縛りも存在する任務が課せられます。設計が求められる高さの制限という縛りも存在する任務が課せられます。

シャフト

タワーの中心には、エレベーターと展望室のシャフトが通っています。中心のシャフトは、エレベーターと展望室のシャフトが通っています。

ラックウォール

タワーの構造には、ラックウォールが採用されています。ラックウォールは、タワーの構造を支える重要な役割を果たしています。



心柱

タワーの中心には、心柱が通っています。心柱は、タワーの構造を支える重要な役割を果たしています。



構造(鋼骨トラス)

タワーの構造は、鋼骨トラス構造を採用しています。鋼骨トラス構造は、タワーの構造を支える重要な役割を果たしています。



